

# ブックリスト「災害・防災の本」

2011年3月11日の東日本大震災は、今なお被害の全容が判明せず、余震や原子力災害など、被災地はもとより国民生活全体に深刻な影響を及ぼしています。このブックリストでは、地震・津波、原子力発電、防災・ボランティアというテーマに分けて、所蔵資料をご紹介します。災害を知り、防災を考える参考となれば幸いです。

2006年以降に発行された、基礎的・入門的な図書33点をご紹介します。

- ・請求記号順に図書を紹介しています。
  - ・内容紹介は(株)日販図書館サービスが作成したデータです。
  - ・ご利用の際は、書名と請求記号(本の背表紙のラベル番号)でご指定ください。
- 資料の探し方などについて、ご不明な点がございましたら、カウンターでお尋ね下さい。

## 1 地震・津波

通番	書名	著者等	発行所	発行年月	請求記号
1	世界の災害の今を知る水と風の災害 1 津波	文渓堂	2006. 3		360/S13/2-1
	津波発生メカニズムや力などをわかりやすく科学的に解説すると共に、これまでの被害の実例をあげてその恐ろしさを紹介。「津波」について様々な角度から取り上げ、その実態を子どもたちに簡明に伝える。				
2	超巨大地震がやってきた スマトラ沖地震津波に学べ	木股文昭／編著	時事通信出版局	2006. 11	36930/U2/
	スマトラ沖地震による大津波には、将来日本で起きるであろう大地震や大津波から生き残るための教訓が、数多く秘められている。地震学・地理学・経済学・社会学・心理学の研究者による、画期的な「防災」の本。				
3	Tsunami 津波から生き延びるために 沿岸技術研究センター「Tsunami」出	丸善プラネット	2009. 3		36931/E4/3
	津波災害の実例や津波の特性について、豊富な現地調査の報告からわかりやすく解説。津波のメカニズムと被害の状況、津波への対処法や対策についても詳説。津波から生き延びるための知恵が身につく参考書。				
4	伝える 阪神・淡路大震災の教訓	兵庫県／編	ぎょうせい	2009. 3	36931/H16/3
	自然災害に事前にどう備えるべきか。阪神・淡路大震災をもとに、震災で学んだこと、その教訓をどう生かすべきなのかを、具体的な施策や実施の考え方、背景を踏まえ100の項目にわたって具体的にまとめた1冊。				
5	地震イツモノート 阪神・淡路大震災の被災者167人にきいたキモチの防災マニュアル	地震イツモプロジェクト／編	木楽舎	2007. 4	36931/J6/
	ただのアンラッキーと考えるのではなく、私たちの生活の一部と考えること。どんな時にでも、心の底に置いておく心構え。阪神・淡路大震災を経験した人たちのキモチをまとめた、新しい地震への備え方と工夫の書。				
6	大地震発生その時どうする？ サバイバルブック	国崎信江／著	日本経済新聞出版社	2008. 4	36931/K38/4
	大地震発生。家庭にいたら、さあ、どうする。浴室やトイレにいたら。部屋に閉じ込められたら。火災がおきたら…。震災発生時の対処法と備えを、簡潔かつビジュアルに解説。生活術で生き残る震災対策マニュアル。				
7	津波災害 減災社会を築く (岩波新書)	河田恵昭／著	岩波書店	2010. 12	36931/K43/
	いまだ記憶に新しいスマトラ沖地震津波。日本列島も、同様の津波に襲われる可能性が十分にある。来たるべき大津波にどう備えるか。災害研究の第一人者である著者が、津波減災社会の構築へ向けた具体的施策を示す。				

- 
- 8 **今すぐできる！ママが子どもを地震から守るための本 マミーズブック ママが地震災害から子どもを守るプロジェクト メイツ出版 2007. 9** 36931/M21/

大地震が来た。その時、子どもたちが頼りにするのはママ。核家族、しかもパパが仕事に行った後、ひとりで子どもたちを地震災害から守らなければならないママのための防災マニュアル。震災体験ママのアイデアも満載。

- 
- 9 **地震の時の料理ワザ 防災袋に必携！！電気が復旧するまでの1週間、グラッと来てもあわてない！** 36931/S32/  
坂本廣子／著 柴田書店 2006. 8

被災した時の元気の素は、配給の食糧などを使って、できるだけふだんのごはんに近いものを作る。阪神大震災を体験してわかった、助かるための実践的工夫と体験的被災術を、食の分野から紹介する。

- 
- 10 **大地震から家族を救う方法 緊急地震速報対応 和田隆昌／著 白夜書房 2008. 1** 36931/W3/

震災に対しての実践的なサバイバル・マニュアル。生存確率テストをはじめ、地震災害の基礎知識Q&A、場所別対応マニュアル、知っておきたい地震災害キーワードなどを掲載。

- 
- 11 **緊急地震速報 そのとき、あなたは、どうしますか？（角川SSC新書）渡辺実／著 角川SSCコミュニケーションズ 2008. 9** 36931/W4/

緊急地震速報は日本にしかなく、本運用から1年足らずで問題点も多いが、うまく使えば「究極の減災情報」として使えるシステム。本書では、緊急地震速報のイロハから防災・減災に関わる情報・ノウハウを伝授する。

- 
- 12 **津波は怖い！ みんなで知ろう！津波の怖さ 沿岸技術研究センター／編 丸善プラネット 2010. 4** 453/E1/

津波の被害を防ぐ方法とは。身を守るためには、津波がどんなに恐ろしいかを知り、ふだんから避難の方法を話し合うことが大切。本書では豊富な写真・イラストとともに、津波についての基礎知識をわかりやすく解説。

- 
- 13 **津波てんでんこ 近代日本の津波史 山下文男／著 新日本出版社 2008. 1** 4534/Y1/3

命のほかに宝はない。俊敏な避難と全力疾走、自分の命は自分で守れ。子どもの頃、津波を体験した著者が語る津波の恐怖と究極の津波防災。明治以来の近代日本を襲った津波被害を振り返り、体験の風化に警鐘を鳴らす。

## 2 原子力発電

---

通番	書名	著者等	発行所	発行年月	請求記号
----	----	-----	-----	------	------

---

- 14 **核爆発災害 そのとき何が起るのか（中公新書）高田純／著 中央公論新社 2007. 4** 4295/T9/

核爆発の影響下にあっても、生存者はいた。政治的な視点を一切除外し、純粋に科学的な見地から、過去の核爆発事例を検証し、想定される被害と生存可能性とを推測する1冊。

- 
- 15 **放射能で首都圏消滅 誰も知らない震災対策 食品と暮らしの安全基金／著 古長谷穂／著 三五館 2006. 4** 5390/S13/

東海地震が起きたら、その時、残された時間はほんのわずか。首都圏はたった6～8時間後、放射能に汚染されてしまう…。「原発震災」からあなた自身と家族の命を守るために、必須の知識と対策をまとめた必読書。

- 
- 16 **原発崩壊 誰も想定したくないその日 明石昇二郎／著 金曜日 2007. 11** 5435/A6/2

震災事故を引き起こした責任者たちの行状を徹底的に検証。その結果大震災と原発の重大事故が同時発生する、破局的災害「原発震災」を招くものの正体を明らかにする。原発震災の発生を未然に防ぐための責任追及の書。

- 17 **原子炉時限爆弾 大地震におびえる日本列島 広瀬隆／著 ダイヤモンド社 2010. 8** 5435/H7/2  
世界各地で頻発する大地震は何の予兆なのか。クリーンエネルギーとして推進されている原発は本当に安全か。「原発震災」がもたらす日本壊滅の危機に警告を発する。著者15年ぶりの反原発書。
- 18 **チェルノブイリの森 事故後20年の自然誌 メアリー・マイシオ／著 日本放送出版協会 2007. 2** 5435/M10/  
汚染地帯には、植生がもどり、希少種の動物が集まり始めた。ウクライナ系アメリカ人記者が、事故後キエフに移住。不毛の地から、自然がたくましく回復していく姿を描く決死のルポルタージュ。
- 19 **原発と地震 柏崎刈羽「震度7」の警告 新潟日報社特別取材班／著 講談社 2009. 1** 5435/N6/2  
2007年夏、中越沖の激震で世界最大の原発が止まった。謎に包まれた原発の実態、政財官の癒着や様々な謎を解き明かしたスクープ報道。2008年度日本新聞協会賞、日本ジャーナリスト会議・JCJ賞受賞。
- 20 **スリーマイルアイランド 手に汗握る迫真の人間ドラマ J. サミュエル・ウォーカー／著 イーアールシー 5435/W2  
出版 2006. 8**  
1979年に起こったスリーマイルアイランド原子力発電所事故。事故後の攻防は、不信と混乱の渦巻く中、人間の知性と決断が試された5日間であった…。使命感に燃えた人々の苦悩と葛藤を綴ったドキュメント。

### 3 防災・ボランティア

通番	書名	著者等	発行所	発行年月	請求記号
21	<b>被災者からまなぶ自然災害 第1巻 自然災害にそなえて 横田崇／監修 あかね書房 2007. 4</b>			360/Y4/1-1	
	被災者の生の声を通して、自然災害に対して事前に備えておきたいことを学ぶ。日本ではどのような災害があり、災害が発生するとどのようなようになるのか、災害から身を守るにはどうしたらよいかなどを紹介する。				
22	<b>被災者からまなぶ自然災害 第2巻 自然災害発生！ 横田崇／監修 あかね書房 2007. 4</b>			360/Y4/1-2	
	被災者の生の声を通して、自然災害発生時に注意したいことを学ぶ。代表的な災害の様子を紹介。阪神・淡路大震災ほか被災者の経験、医療現場で働く人たちの取り組み、情報の確保、災害現場で活躍する車について解説。				
23	<b>被災者からまなぶ自然災害 第3巻 自然災害のあとで 横田崇／監修 あかね書房 2007. 4</b>			360/Y4/1-3	
	被災者の生の声を通して、自然災害発生後に心がけたいことを学ぶ。被災直後にどのように過ごしたのかに焦点を当て、被災者の体験を紹介。大変な状況の中で生き抜くための工夫、それを通して学んだことなどを伝える。				
24	<b>これからの防災・減災がわかる本（岩波ジュニア新書）河田恵昭／著 岩波書店 2008. 8</b>			36930/K20/2	
	近年、大災害が増加し、被害も拡大している。命と財産を守る「減災」社会に変えていくにはどうしたらよいか。災害のメカニズムを知り、適切な危機管理能力を身に付け、自分で考えて行動するための1冊。				
25	<b>あなたからできる自然災害ボランティアABC Nature game books 日本ネイチャーゲーム協会 36930/N15/ ／編 ネイチャーゲーム研究所 2006. 2</b>				
	自然災害時に子どもや高齢者の遊び相手、話し相手としてのボランティア活動には、どのようなものがあるのか、またふだんからどのようなことを心がければよいかなどを、実体験に基づきわかりやすく解説する。				

- 
- 26 **災害対策マニュアル 災害からあなたを守る本 日本弁護士連合会災害復興支援委員会／編 商事法務 2010. 9** 36930/N20/
- 震災や台風などの災害に遭ったあなたが直面するおそれがある、トラブルや法律問題についてQ&Aの形でまとめた1冊。法律の知識を得ることで、問題解決の見通しがわかり、トラブルを避けることができるようになる。
- 
- 27 **知っておきたい\* 災害時の水対策 水の確保から浄水技術まで 曾布川尚民／共著 オーム社 2008. 2** 36930/N20/
- 災害発生時には水の確保と供給が急務になる。本書は、災害によって水の供給が断たれた緊急時に、生命維持に直結する飲料水をどのようにして確保し、供給するのかについて、その浄水技術を科学的データに基づき紹介。
- 
- 28 **災害ユートピア なぜそのとき特別な共同体が立ち上がるのか レベッカ・ソルニット／著 亜紀書房 2010. 12** 36930/S14/
- 大爆発、大地震、大洪水、巨大なテロ…。いつもそこにはユートピアが出現した。なぜその“楽園”が日常に生かされることはないのか。「ニューヨークタイムズ」2009年度の注目すべき本に選出された1冊。
- 
- 29 **災害で活きた心を支えるシニア・ボランティア 神戸・東京・新潟での実践 ユニベール財団／編 ミネルヴァ書房 2007. 1** 36930/U2/
- シニアならではの傾聴力を活かし、阪神・三宅島・中越の大災害で、高齢者の孤立を防いだ貴重な記録。「心のケア」のチームレベルに定評のあるユニベールボランティアが、災害に強いコミュニティ作りを伝える。
- 
- 30 **災害からの暮らし再生 いま考えたい (岩波ブックレット) 山中茂樹／著 岩波書店 2010. 1** 36930/Y10/
- 未明の大地震から15年。天災を人災にしないために今、何を学ぶべきなのか。災害大国に住む我々にとって、重要なこととは。大震災の貴重な教訓から、人のいのちと暮らしに重点を置いた復興政策の必要性を訴える。
- 
- 31 **防災格言 いのちを守る百の戒め 山村武彦／著 ぎょうせい 2009. 1** 36930/Y4/2
- 大地震、風水害等による被害を最小限にいとめるための心得を格言形式で掲載。日頃の心構えから、緊急時の行動や避難方法まで、著者の経験したエピソードを交えてわかりやすく解説。百の戒めで知る新・防災の常識。
- 
- 32 **目からウロコの防災新常識 あなたと家族の命を守る 山村武彦／著 ぎょうせい 2010. 2** 36930/Y4/3
- 従来の防災常識の誤りや、災害シチュエーション別の対策など、著者の経験・実地調査に基づいたエピソードを交えて紹介。詳細な解説で、間違いだらけの防災常識をバージョンアップさせる1冊。
- 
- 33 **これからの都市水害対応ハンドブック：役立つ41知恵！ / 末次忠司. -- 山海堂, 2007.5** 36933/S1/
- 都市水害は突然やってくる身近な災害。本書では、防災準備から洪水時の避難方法、被災後のサバイバルの手段まで、41の知恵と基礎知識を解説。最近の集中豪雨に不安を感じている人必読のガイドブック。
- 

平成23年4月発行  
編集・作成 香川県立図書館  
〒761-0393 高松市林町2217-19  
Tel 087-868-0567  
<http://www.library.pref.kagawa.jp>